

第11戦は東選手が快勝、第12戦は雷雨で中止に 日本代表の座は水越選手と小林選手が獲得!



2018年8月11~12日 鈴鹿サーキット国際南コース(三重県) 曇/雨(ウェット) 参加台数: 第11戦 21台 / 第12戦 中止

2017年12月の開幕戦以来5大会・全10戦によって繰り上げられてきた2018 ROK SHIFTER CUP 鈴鹿シリーズは、いよいよ最後の大会を迎えた。これは同時に、APGシリーズとの合算でポイントランキングが決まる2018 ROK SHIFTER CUP シリーズのラスト1大会。今回の2戦の結果によって、10月13日にイタリア・サウスガルダカーティングで行なわれる2018 ROK INTERNATIONAL FINAL に招待される日本代表選手2名が選出されることとなる。

ポイントリーダーとしてこの大会に臨んだのは、ここまで152点を獲得している水越健太選手(MOMOX)。これに141.5点の小林弘直選手(HRT)と100点の東拓志選手(NEXT-ONE Racing)が続いている。

今大会は2デイ制。初日にタイムトライアルが、2日目に第11戦と第12戦が予定されている。エントリーは最年少15歳、最年長50歳のバラエティ豊かな21名だ。

ドライコンディションで行なわれたタイムトライアルでは、廣岡陸勢選手(トレンタクワトロ)が48秒056のトップタイムをマークして第11戦のポールを獲得。2番手に石川京侍選手(VITEC racing)、4番手に高橋知己選手(VITEC racing)と、スポット参戦のカート出身4輪ドライバーが上位に着けた。3番手は石川選手と同タイムだった東選手。注目のランキング上位2名は、水越選手がトラブルに悩まされて14番手、小林選手がアクシデントに遭遇して15番手だ。



